

長ノ席ヲ汚スコトニナリマシラゴザイマスカラ此有益ナル演説ニ向ツテ一言謝シタイト思ヒマス、

一萬、ゾルトノ電氣ト云ヒマスルト云フト我邦デハ未ダ誰モ之ヲ試驗シタコトハ無イ様ニ私ハ記憶シマス、ソレヲ今回藤岡博士ガ試驗サレタ、此後エレクトロバウアーラモートルトシテ餘程遠方ノ所カラ運ゴトガ出來ル様ニナル、サウ云フ試驗ノ元ハ藤岡博士ガ續ケラレルト云ヒマス、ト先生ノ恩澤ニ依テ開ケル譯テアリマス、回顧シマス、ト云フト日本ニ電氣燈ノ開ケマシタ極初メハ藤岡博士ガ重ニ試驗サレテヤラレタ様ニ記憶シテ居リマス、他ニアリマシタカ知リマセヌケレドモ先ヅサウ云フ様ニ思ヒマス、誠ニ電氣ニ付テハ斯ル有益ナ試験ヲサレ、又日本ニ新ニ種々ノ電氣業ヲ起サレタノハ實ニ同君ニ謝サナケレバナラヌト考ヘマス、尙ホ本夕ハ此ムヅカシイ有益ナ試験ノ御話ヲ拜聽イタシタコトニ對シマシテ諸君ト共ニ拍手シテ演説者ニ謝シタイト思ヒマス、ドウゾ御同意ノ御方ハ拍手ヲ願ヒマス

(一同拍手)

拔萃

○西比利亞鐵道ノ現況 近頃始メテ鏡道列車ノ中部西比利亞トムスクニ到着シタルハ世界交通上重大ノ出來事ト云フヘシ千八百九十一年五月三十一日始メテ西比利亞大鐵道ノ工事ニ着手セラレタル以來既ニ同鐵道線路ノ一般交通用ニ供セラレタルモノ少カラスシテ昨年八月ニ於テ延長七百九十三、キロメートルニ互ルチエリヤピンスクオムスク間ノ線路、同年

十月ニ於テ延長四百十四、キロメートルニ亙ル浦潮斯德グラーツスカヤ間ノ南島蘇里線路ノ開通アリシカ今又オムスク、トムスク間ノ線路ノ開通ヲ見ルニ至レリ今聖彼得堡ヨリノ通信ニヨレハ同線路ハ現年度中ニオムスクヲ距ル千三百八十五、キロメートルノ處ニ在ルエニセイ河畔ノクラスノヤールスクニ達スヘク而シテ千九百四年マデニハ此大事業ノ完成ヲ告クルニ至ルヘシト云フ西比利亞鐵道ノ總延長ハ二個ノ短支線路ヲ加算シテ七千六百九、キロメートルナルカ之ニ比スレハ三千四十二、キロメートルノ巴黎君士但丁間ノ鐵道及ヒ五千三百五十七、キロメートルノ北米中央太平洋鐵道ト雖モ尙ホ大トスルニ足ラサルノ觀アルナリ

○獨逸北東海運河開通第一年報告

北東海運河公報ニ據レハ該運河開通ヨリ一年間ニ於ケル通航汽船ノ數ハ七千五百三十一艘ニシテ此内六百四十二艘ハ定期航海船ニ屬ス軍艦ノ通航數ハ獨逸軍艦二百六十六艘及外國軍艦二艘ナリ帆船ノ通航數ハ九千三百二艘ニシテ内八千四百七十七艘ハ獨逸船ナリ外國船ヲ國別スレハ左ノ如シ

| | | | | | | | |
|---------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 英吉利 | 丁抹 | 瑞典 | 佛蘭西 | 諾威 | 和蘭 | 白耳義 | 露西亞 |
| 汽船 一六四艘 | 五四七 | 一七四 | 六 | 三〇 | 六三 | 三 | 五六 |
| 帆船 二〇 | 二六五 | 一六二 | 二 | 三〇 | 三一八 | 〇 | 二八 |

汽船ニ就キテノ收入ハ六十八万八百二十五馬克帆船ニ就キテノ收入ハ二十一万六千六百二十六馬克ニシテ總計八十九万七千四百五十一馬克ニ過キス之ヲ政府當初ノ豫算五百万馬克ニ比スレハ實ニ甚シキ差違ヲ示セリ

○調革ノ帶ヲ定ムル圖表

左ニ掲タル圖表ハ種々ノ速度ニ對シ種々ノ幅ヲ有スル調革ガ